

第3章 北海道ブロックにおける重点事項

1.安全・安心な食料の基地としての役割の強化と産業の競争力強化

安全・安心な食料の供給基地としての役割を強化するため、農林水産施策の推進による農水産物の品質や生産性の向上等に併せて、多目的国際ターミナルや高規格幹線道路等の整備による物流の効率化を図る。

また、産業クラスター活動の推進等を通じ産業の競争力を強化するため、重点的な基盤整備の推進による産業拠点の形成を支援する。

- ① 高規格幹線道路、地域高規格道路、多目的国際ターミナル、空港等の一体的な整備により、物流コストを縮減し、食料の安定供給等を促進するとともに、既存産業の競争力強化を図る。

将来に向けた長期的な取組

- ・ 高規格道路ネットワーク等の整備により、物流コストの縮減を図る。
- ・ 国際海上コンテナターミナルの整備により、増加する外貨コンテナ貨物輸送の効率化を図る。
- ・ 陸上輸送距離の削減及び船舶の大型化に対応するため、多目的国際ターミナルを整備し、物流の効率化を図る。
- ・ 内貿ユニットロードターミナルを整備し、陸上輸送及び海上輸送の円滑な接続により、物流の効率化を図る。
- ・ 幹線臨港道路を整備し、港湾貨物輸送の効率化を図る。
- ・ 航空機の貨客積載制限の解消により、航空機運航の効率性の向上を図る。
- ・ 増大する航空貨物の空港内における円滑な貨物輸送を行うため、ターミナル地域等を改良し、物流の効率化を図る。

主要施策・主要事業

- ・ 高規格幹線道路の整備
- ・ 地域高規格道路の整備
- ・ 一般国道及び地方道の交通円滑化整備
- ・ 国際海上コンテナターミナルの整備
- ・ 多目的国際ターミナルの整備
- ・ 内貿ユニットロードターミナルの整備
- ・ 幹線臨港道路の整備
- ・ 空港の整備

計画期間（H19年度まで）における取組

【指標】

- ・ 210分以内に苫小牧港・室蘭港へ到達できる市町村数を59%から63%とし、特定重要港湾への日帰り行動圏の拡大を図る。
- ・ 多目的国際ターミナルの供用により、道内各市町村から最寄りのターミナルまでの平均距離を約2割短縮し、物流の効率化を図る。



多目的国際ターミナルの整備
(苫小牧港東港区中央水路地区)



空港の質的充実に係る整備 (新千歳空港)

② 水道用水や工業・農業を始めとする産業の発展に必要な用水の確保を推進する。

将来に向けた長期的な取組

- ・ 計画的なダムの整備を推進し、治水対策や河川環境の保全と併せ、水道用水、かんがい用水、工業用水等の安定的な確保を図る。

主要施策・主要事業

- ・ ダム事業

計画期間 (H19 年度まで) における取組

【指標】

- ・ ダムの完成により、約 20,000ha の農地に対するかんがい用水の補給を行うとともに、一日最大 70,000m³ の水道用水及び一日最大 11,800m³ の工業用水の確保を可能にする。

【主要施策・主要事業】

ダム事業

- ・ 忠別ダム【H18 年度完成】
- ・ 庶路ダム【H16 年度完成】
- ・ 留萌ダム、夕張シューパロダム、新桂沢ダム、三笠ほんべつダム、平取ダム、サンルダム、西岡生活貯水池、徳富ダム、厚幌ダム、当別ダム【以上推進】



ダム事業
(夕張シューパロダムイメージ図)



ダム事業 (忠別ダム)

③ 安全で安心な水産資源を確保するために、流域が連携した水環境の改善を推進する。

将来に向けた長期的な取組

- 下水道の普及促進、下水道事業の事業間連携等を推進し、健全な水環境の確保に努める。
- 河川・湖沼の浚渫・導水等の水質浄化対策を地域と連携しつつ推進することにより、水産資源の再生産に資する。
- 農林水産関係事業も含めた各種事業間の連携に努め、流域一体となった水環境改善を図る。

主要施策・主要事業

- 下水道の普及促進
- 特定下水道施設共同整備事業（スクラム事業）
- 汚水処理施設共同整備事業（MICS事業）
- 河川・湖沼の水質浄化対策

計画期間（H19年度まで）における取組

【指標】

- 下水道整備事業の推進により、下水道処理人口普及率を85%（H14年度末）から89%に向上させる。

【主要施策・主要事業】

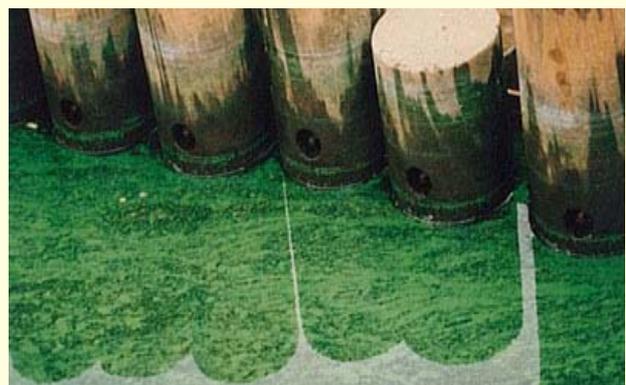
下水道の普及促進	・古平町公共下水道 等【供用】
汚水処理施設共同整備事業 (M I C S 事業)	・北見市公共下水道 等【供用】
特定下水道施設共同整備事業 (スクラム事業)	・丸瀬布町特定環境保全公共下水道 等【供用】
河川・湖沼の水質浄化対策	・茨戸川・創成川への導水【以上完成】 ・茨戸川・網走湖水質浄化対策【推進】



M I C S 事業のイメージ



高度処理水を利用したせせらぎ空間
(札幌市 屯田地区)



茨戸川で発生したアオコ

④ 地域における産業拠点及び周辺の基盤整備等を推進し、新産業の育成を支援する。

将来に向けた長期的な取組

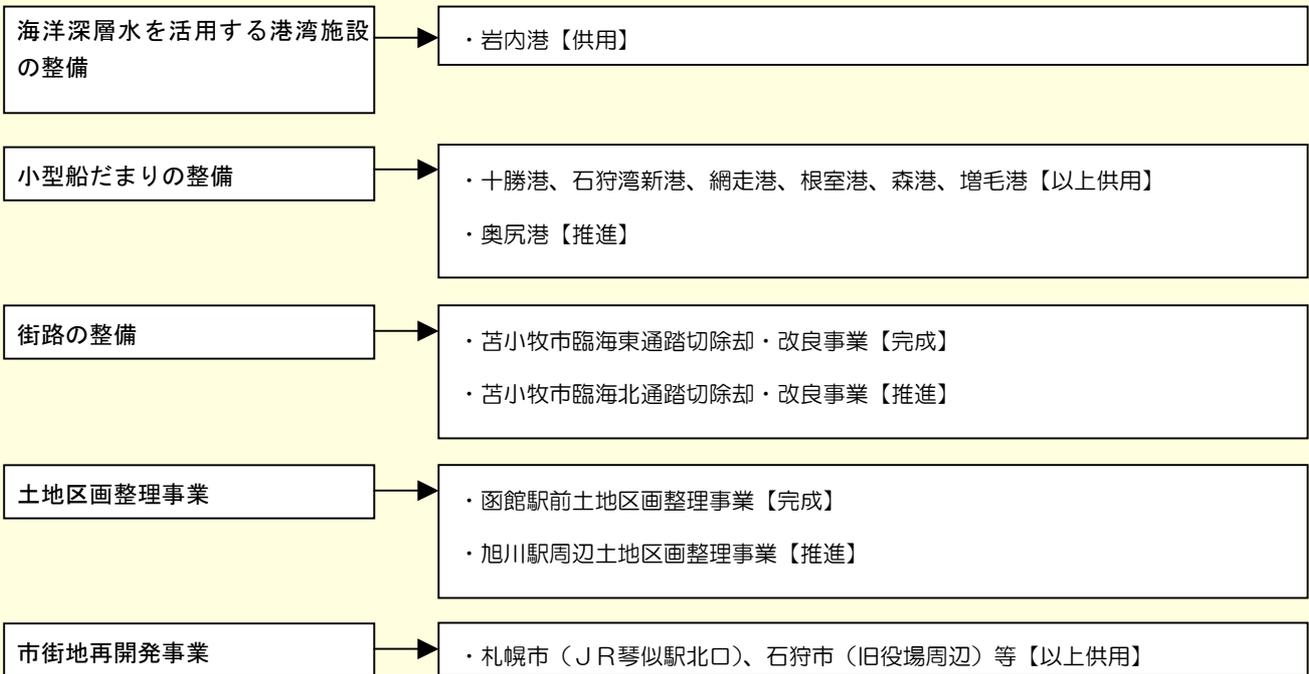
- ・ 海洋深層水を活用する港湾施設の整備により、地域産業の活性化に貢献する。
- ・ 小型船だまりを整備し、多層係留の解消による荷役の効率化等を図り、地域産業の活性化に貢献する。
- ・ 工業団地等周辺の街路網を整備し、アクセスの改善を図る。
- ・ 土地区画整理事業や市街地再開発事業等を推進し、土地利用の高度化、都市機能の再生、中心市街地の活性化を図る。

主要施策・主要事業

- ・ 海洋深層水を活用する港湾施設の整備
- ・ 小型船だまりの整備
- ・ 街路の整備
- ・ 土地区画整理事業
- ・ 市街地再開発事業

計画期間（H19年度まで）における取組

【主要施策・主要事業】





海洋深層水を活用する港湾施設イメージ図



小型船の多層係留状況（網走港）



都心居住と商業・業務機能が複合化した
拠点形成を推進する市街地再開発事業
（JR琴似駅北口：イメージ図）



地区の核となる市街地再開発事業
（石狩市（旧役場周辺）：イメージ図）